

Google広告 請求の読み方シート

Google広告の請求が「いつ・何で・いくら」来るかを読み、経理に渡すところまで迷わず進めるための8枚

この8枚でできること

- ☐ お支払い設定（いつ払うか）とお支払い方法（何で払うか）を分けて話せる
- ☐ 月の途中で引き落とされた理由を、お支払い基準額の仕組みで説明できる
- ☐ 月の上限から日予算を逆算し、消費税込みの出金額まで出せる
- ☐ 請求されなかった超過分を、請求額レポートで自分で確かめられる
- ☐ 請求書と明細書の違いと、出る日を経理に伝えられる

使う順番

2ページで自分の支払い方を決める → 3～4ページに自分の数字を書いて計算する → 5ページで予備のお支払い方法を入れる → 6ページを経理の担当者と一緒に見る → 8ページの引き継ぎ文を送る。

請求が「おかしい」と思ったら、まず7ページの表で当てはまる行を探します。

目次

2	言葉2つと、お支払い設定3つ いつ払うかと何で払うか、3つの比較、請求書払いの4条件
3	いつ引き落とされるか 毎月1日と基準額、公式の例2つ、自分の数字で計算する欄
4	1日の予算を超えて請求される理由 2倍と30.4倍、日予算の早見表、キャンペーン合計の計算欄、超過分の確認5手順
5	何で払うかと、止めないための備え 日本で使える方法、仮請求、予備の方法と期限の控え、通知と支払いの権限
6	料金の画面と、経理に渡す書類 6つの画面、純費用と支払いのずれ、請求書と明細書、5営業日、消費税、月ごとの受け渡し記録
7	戻れないこと・合わないとき 先に知っておく6つ、金額が合わない3つの理由、慌てる場面6つ
8	経理への引き継ぎと、確認先 写して送る引き継ぎ文、慣れたら3つ、公式ヘルプ9本

数字と決まりの出どころ

この資料の数字と仕組みは、記事「第8回 支払い方法と請求の読み方」で引いた公式ヘルプ9本と、2026年9月4日に自社のアカウントで開いた料金の画面の記載です。金額の例は公式ヘルプの例と、計算のための架空の数字です。

言葉2つと、お支払い設定3つ 最初に決める

まず言葉を2つに分ける

言葉	意味	例
お支払い設定	いつ払うか	自動支払い、手動支払い、毎月の請求書発行
お支払い方法	何で払うか	クレジットカード、銀行口座振替など

「支払い方法を変えたい」と言われたら、タイミングの話か手段の話かを先に聞きます。やることがまったく違います。使える組み合わせは、ビジネス拠点の住所がある国と、アカウントの通貨で決まります（第6回で先に決めたのはこのためです）。

お支払い設定3つの比べ方

設定	形	請求のタイミング	使いすぎ	向いている人
自動支払い	広告が出たあとに払う（後払い）	毎月1日か、お支払い基準額に達した時点の早いほう	止まらない	続けて出す人
手動支払い	先に入金し、そこから減る（前払い）	入金した時点	残高がなくなると広告が止まる	金額を絶対に超えたくない人。国によって使えない
毎月の請求書発行	月末にまとめて請求書が届き、後日振り込む	月に1回	止まらない	下の4条件を満たす会社や代理店

管理画面の「設定」では「お支払いタイプ」という名前で出ます。後払いと出ていれば自動支払いです。

毎月の請求書発行の利用要件（全部に印が付けば申請できる）

#	条件	印
1	会社を登録してから1年以上が経過している	☐
2	有効なGoogle広告アカウントを6か月以上良好な状態で保有している	☐
3	過去12か月のうち、お支払い額が5,000米ドル以上の月が3回以上ある	☐
4	アカウントがクライアントセンター（MCC）アカウントにリンクされている	☐

実質的な壁は3番です。届かないうちはカード払いで実績を積みます。4番のMCCへのリンクは先に作っておくと申請が早く進みます。

自分のお支払い設定	選んだ理由
-----------	-------

手動支払いを選んだ人の入金記録（残高がなくなると広告が止まる）

入金した日	入金額	入金後の残高	日予算の合計	尽きる目安の日

尽きる目安の日は、入金後の残高 ÷ 日予算の合計で出した日数を足した日です。1日で日予算の2倍まで出ることがあるので（4ページ）、目安の日より前に次の入金を済ませます。

いつ引き落とされるか 自動支払いの人向け

自動支払いの請求は2つのタイミングの早いほう

1. 毎月1日

前月に使った分が、月初に請求されます。

2. お支払い基準額に達したとき

「ここまで使ったら一度請求します」という金額です。作ったばかりのころは低く、支払いの実績が積み上がると上がります。

公式ヘルプの例2つ（前回のお支払い日は8月1日）

例	お支払い基準額	8月分の費用	いつ、いくら請求されるか
例1 基準額を下回る	50米ドル	49米ドル	9月1日に49米ドル
例2 基準額を上回る	250米ドル	275米ドル	基準額に達した日に250米ドル、差額の25米ドルが9月1日

例2が「月に2回引き落とされた」の正体です。費用が多いアカウントでは、1日に複数回基準額に達して、そのたびに請求されることがあると公式に書かれています。

自分の数字で計算する（料金 → 設定 と 概要 を見て書く）

月	お支払い基準額	その月の費用	月の途中の回数	月初に来る差額

月の途中の回数は、費用 ÷ 基準額 の整数の部分が目安です。月初に来る差額は、費用から月の途中で請求された額を引いた残りです。実際の区切りは請求処理状況の画面で確かめます。

回数を減らしたいとき お支払い基準額の引き上げは申請できますが、支払いの実績が要ります。カードの明細で「不正利用では」と焦る前に、この仕組みを思い出します。

1日の予算を超えて請求される理由 この回を中心

1日 平均予算の2倍まで出ることがある

1か月 平均予算の30.4倍を超えない。超えた分は請求されない

「1日の予算」は上限ではなく、1か月をならしたときの1日あたりの平均です。日予算は「1か月ここまで」から逆算します。

月の上限から日予算を出す早見表（日予算 = 月 ÷ 30.4、100円未満切り捨て）

月にここまで	日予算に入れる額	1日に出うる額（2倍）	消費税込みの出金
100,000円	3,200円	6,400円	110,000円
200,000円	6,500円	13,000円	220,000円
300,000円	9,800円	19,600円	330,000円
500,000円	16,400円	32,800円	550,000円
1,000,000円	32,800円	65,600円	1,100,000円

キャンペーンを足す日に計算し直す欄

キャンペーン名	日予算	× 30.4 = 月の上限
合計		
合計 × 1.1（消費税込みの出金）		

請求されなかった超過分を自分で確かめる5手順

#	手順
1	キャンペーンのアイコンを選ぶ
2	「分析情報とレポート」を開く
3	「レポートエディタ」を選ぶ
4	テンプレートギャラリーの「お支払い」から「請求額」レポートを選ぶ
5	配信費用から請求額を引く。残った額が、請求されなかった超過分

見た月	配信費用	請求額	超過分（配信費用 – 請求額）

何で払うかと、止めないための備え

止まる前に入れる

日本で円のアカウントの場合

方法	どうなるか	新しく使えるか
クレジット・デビットカード	いちばん一般的。自動支払いでも手動支払いでも使える	使える
銀行口座（口座振替）	自動支払いなら、最後の自動支払いから30日が経過するか、費用が一定額に達した時点の早いほうで請求	使える
PayPal	自動支払いを使う新規アカウントでは一時的に使えない。既存のアカウントにも追加できない	新規は不可
プリペイドカード	自動支払いでは使えなくなった	自動は不可

PayPalを選択肢に並べている古い記事があります。いま新しく作るアカウントでは使えません。

カードを登録すると少額の仮請求が出ることがある

事前信用照会と呼ばれるもので、対応は要らず、1週間以内に自動で消えます。「二重に請求された」と勘違いしやすいところです。

予備のお支払い方法と期限の控え

更新する月は、有効期限の前月です。メインに請求できないとき、予備が自動で使われます。入れていないと、料金 → 設定 のいちばん上に警告が出ます。

区分	種類（カード名など。番号は書かない）	有効期限	更新する月	登録した日
メイン				
予備				

お金の知らせと、お金を触れる人

項目	誰にするか	決めた日
請求の通知の宛先（2人以上）		
お支払いサービスのユーザー		

お支払いサービスのユーザーは、アクセスとセキュリティのユーザー（第7回）とは別に管理されます。広告の設定は触れるが支払いには触れない、という分け方ができます。代理店に渡すときはこの形にし、支払いを触れる人は必要最小限にします。

場所は左の細い列の「料金」。中に並ぶ画面はこうです。

画面	何が見られるか
概要	残高、次の自動支払い、前回のお支払い、月ごとの費用と支払い
請求処理状況	日付ごとの取引。費用とクレジットの明細。初期は直近3か月
ドキュメント	請求書と明細書。経理に渡すのはここ
プロモーション	クーポンの適用
お支払い設定の移行	請求先を別のプロファイルへ移す
設定	お支払い方法、お支払いタイプ、支払人の詳細

「設定」の画面で見る4つ

項目	どうなっていればいいか	自分の画面の値
お支払い方法	予備のお支払い方法の警告が出ていない	
お支払いタイプ	選んだお支払い設定と同じ（後払いなら自動支払い）	
お支払いサービスのユーザー	支払いを触る人だけ。人数は最小限	
支払人の詳細	法人で使うなら法人名。請求書の宛名になる	

概要の「純費用」と「支払い」は一致しない
費用が出た月と、引き落とされた月がずれるため
です。経理の人がつまづくのはここです。

カードの明細と突き合わせる起点
請求処理状況です。初期は直近3か月なので、そ
れより前は期間を広げます。

請求書と明細書は別のもの（ドキュメントのタブ2つ）

種類	何か	経理での使い道
請求書（税務書類と法定書類）	Googleが発行する正式な書類。発行日、ドキュメント番号、 金額が入る	これを保存する
明細書	月ごとの費用の内訳	中身を確認する用

画面の上に「通常、前月のアクティビティに関するドキュメントは、翌月の5日目の営業日までに参照可能になります。」とあります。日本の広告費には消費税10%が乗ります（Google合同会社ガリセラーとして明細書を発行するため）。仕訳の扱いは税理士に確かめます。

月ごとの受け渡し記録

対象の月	ドキュメント番号	落とした日	渡した相手	済
				☐
				☐
				☐
				☐

戻れないこと・あとで困ること		
やりがちなこと	何が起きるか	代わりにやること
支払人を個人名のまま使う	請求書の宛名が個人名で毎月届く。直しても直す前の請求書は直らない	法人なら最初に法人名に
予備の支払い方法なし	カードの期限切れや限度額の日に広告が丸ごと止まる。止まった間の機会損失は戻らない	予備を登録。期限の前月に更新
日予算を上限と思う	1日で2倍まで出る。キャンペーンを足すたびに月の合計も増える	日予算 × 30.4 で合計を出す
消費税を予算に入れない	月30万円の予算で出金は33万円。資金繰りが狂う	出金は予算 × 1.1 で見積もる
請求の通知が1人だけ	その人が休んだ日にカードが止まると誰も動けない	請求の通知は2人以上に
請求書を月初すぐ探す	前月分は翌月の5営業日目までに出る。それより早くは出ない	経理の締めに5営業日を入れる

明細書の金額とカードの請求額が合わない3つの理由

#	理由	中身
1	請求の区切りが月末ではない	お支払い基準額に達した時点で切れる。1つの月が2枚以上に分かれる
2	前月の未払い残高が繰り越されている	前の請求対象期間の未払い費用が、今回の請求に足される
3	税金や手数料が乗っている	日本の広告費には消費税10%が乗る

公式の計算式は「この請求対象期間の現在の費用 + 税金と手数料 + 前回の請求対象期間から繰り越された未払い費用」。1円単位で月ごとに合わせようとするとき行き詰まるので、請求書の番号ごとに合わせます。

慌てる場面と、見るところ

出てくること	何が起きているか	やること
同じ金額が2回並んでいる	片方は銀行への承認リクエストのことが多い。通常は数日以内に消える	数日待ち、残れば銀行へ
カード登録の直後に少額が出た	新しいカードの仮請求（事前信用照会）	1週間以内に自動で消える
月の途中で何度も引き落とされた	お支払い基準額に達するたびに請求される。費用が多いと1日に複数回もある	まず請求処理状況を見る
広告を止めたのに請求が来た	止める前に出た費用が後払いで来ている	最後の請求は止めた翌月に来る
1日で日予算の2倍近く出た	公式に「2倍になることもある」と書かれている	月の合計が30.4倍以内か見る
次の支払いが「予定なし」	配信が止まっているか、まだ費用が出ていない	キャンペーンの状態を見る

経理の担当者に写して送る引き継ぎ文（空欄を埋める）

Google広告の支払いについて共有します。

お支払い設定は（ ）、お支払い方法は（ ）、予備は（ ）です。

請求は毎月1日と、使った額がお支払い基準額（ 円）に達した時点で来るため、月に複数回の引き落としがあります。

月の広告費の上限は（ 円）、消費税10%込みの出金は（ 円）の見込みです。

前月分の請求書は、翌月の5営業日目までに管理画面の 料金 → ドキュメント に出ます。保存するのは「税務書類と法定書類」の請求書です。

カードの明細とは請求書の番号ごとに合わせてください。請求の通知は（ ）と（ ）に届きます。

慣れたらここまで

やること	中身	済んだ日
支払人を登記と合わせる	請求書の宛名はここから来る。法人で使うなら法人名にする	
請求書払いを逆算する	月5,000米ドル以上が年3回。届くまではカードで実績を積み、MCCを先に作る	
キャンペーンを足す日に計算	4ページの合計欄を更新し、月の合計がいくらになるかを先に出す	

確認先（公式ヘルプ。2026年9月4日に確認）

内容	URL（https:// を付けて開く）
お支払い設定とお支払い方法の違い	support.google.com/google-ads/answer/1704418?hl=ja
毎月の請求書発行の利用要件	support.google.com/google-ads/answer/2375377?hl=ja
自動支払いの請求の仕組みと例	support.google.com/google-ads/answer/2375373?hl=ja
請求に関するよくある質問	support.google.com/google-ads/answer/16304798?hl=ja
超過配信と1日の平均予算	support.google.com/google-ads/answer/2375423?hl=ja
日本で使えるお支払い方法	support.google.com/google-ads/answer/2375433?hl=ja
新しいお支払い方法の追加と仮請求	support.google.com/google-ads/answer/2375375?hl=ja
予備のお支払い方法	support.google.com/google-ads/answer/2393032?hl=ja
各国における税金（日本は消費税10%）	support.google.com/google-ads/answer/2375370?hl=ja

次に読む回

第9回（Google広告のアカウント構造）。キャンペーンをいくつに分けるか、広告グループをどう切るかを決めます。

相談したい方へ

請求や予算の組み方を一緒に確かめたい方は、この公式LINEにそのままメッセージをください。お店の状況をうかがってからお返事します。